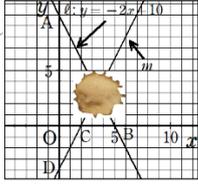


授業デザインシート

R5.2.10

2年3組	教科	数学	授業者	元山 亘	本時	1 9 / 2 0
单元名	1 次関数				場所	西多目的教室
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次関数のグラフから問題をつくり、問題を解いて求め方を説明することができる。(思考力、判断力、表現力等) ・ 問題づくりに取り組み、つくった問題を解決するために自力または対話で解決しようとする態度を身に付ける。(学びに向かう力、人間性等) 					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎・基本の確認 ②先読み・声出し ③学び合い活動の充実 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
過程	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【●】		
導 入	1 基礎基本（1次関数の式、変化の割合、傾き、切片）の確認を行う。	一斉 3分	①	・ 既習事項の声出し確認をさせる。		
	2 学習目標を確認する。 1次関数のグラフを使っていろいろな問題をつくり、解決しよう。	一斉 2分	②	・ 振り返りシートに学習目標を記入させる。		
展 開	3 学習課題を確認する。 学習課題 浩一さんは、インターネットを使って数学の問題を探していました。そこで、問題が書かれていない画像があり、その中央付近にはコーヒーのしみがついていました。浩一さんはこれを使って問題がつかれないか考えています。どんな問題が作れるだろうか。  図だけの画像	一斉 2分 個 3分 対話 3分	① ③④ ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2直線の交点座標があることを全体で確認する。 ・ 解く見通しをもたせる。(直線mの式を求め、連立方程式を解く。) ・ 全員起立させ、分からない生徒が問題解決できるように学び合いをさせる。 ・ 全員が解決し着席したら、全体で声に出し確認をする。 		
	4 個で問題づくりを行い、後にグループでつくった問題を確認する。	個 3分 対話 4分	③④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題へつながるヒントカードを準備する。 ・ 周りの人の考えを聞いて、課題への意識を高めさせる。 ・ 問題をつくろうとしている。【●主】 		
	5 全体で確認する。	一斉 5分	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートで提出させて共有し、全体で取り組める問題を選んで解かせる。(問題が少なければ、ワークシートで進める。) 		
	6 学習問題を解く。	個 5分		<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ生徒同士で解決させるようにする。 ・ 個別対応が必要な生徒には助言する。 ・ 作成できた生徒にはタブレットで撮影させる。 		
	7 自力解決できなければ、周りに質問するなどして解決を図る。	対話 5分	③④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人で解決できない生徒には学び合いをさせる。 ・ 根拠を明確にし、説明できる。【●思・判・表】 		
	8 全体で確認する。	一斉 6分	④	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートを利用して考えを共有させたり、生徒に発表させたりする。 		
	9 本時のまとめをする。 (例) 1次関数のグラフから、図形の面積や立体の体積を求めるなど、様々な問題をつくること ができる。	対話 2分 個人 2分	④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習について、振り返り用紙に自分の言葉でまとめさせる。 		
	10 一問のチャレンジ問題を解く。	対話 5分	⑤ ③④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一問のチャレンジに取り組ませる。 		